

日本科学者会議第18回総合学術研究集会（宮城）

[F-3]分科会

JSA の運動をいかに立て直すか

コーディネーター： 長田好弘、佐久間英俊（東京支部）

11月20日(土) 13:00～18:00（3階 朝日2）

KKR ホテル仙台（仙台市青葉区錦町1-8-17, tel: 022-225-5201）

- 「いかに立て直すか」は、JSA の未来を考えること
- 多面的、多層の活動の教訓から、さらなる活力を
- 「会員5000名の早期回復に向けて」への貢献
- 身近な活動から、さまざまな科学的論議への発展

プログラム

長田 好弘：JSA の組織拡大をはかるには何が必要か
—支部活動の経験をふまえて—

佐久間英俊：今日における科学運動の役割と発展可能性

仲村 誠治：東京支部院生のこれまでの取り組みの到達点と課題
佐々岡 学

阪田 晴三：継続は力、分会活動の紹介

高畑 滋：退職個人会員を組織して20年の活動報告

河上 茂：個人会員の重層的な構造を活かすために
—東京支部個人会員フィールドワークに見る新しい活動の可能性—

俣野 景彦：会員への情報宣伝、相互交流を重視した活動
—『東京支部つうしん』の経験から—

増澤 誠一：東京支部の運動の教訓から考える

米田 貢：大学教員のJSA 活動を考える